

受講料 無料
定員 150 名
先着順

祝 渋沢栄一初代会頭 新紙幣肖像画決定記念
第二回記念セミナー

新一万円札の顔・渋沢栄一を紐解く ～ 論語と算盤の思想 ～

<日程>

2019年8月26日(月)
13:00～15:00
(受付開始 12:30)

<会場>

東商グランドホール

東京都千代田区丸の内 3-2-2
丸の内二重橋ビル 5階

(東京メトロ千代田線 二重橋前(丸の内)駅直結、
JR有楽町駅 国際フォーラム口 徒歩5分 他)



<お申し込み方法>

下記に必要事項をご記入の上 FAX でお申込みいただくか、東商イベントカレンダー (<http://event.tokyo-cci.or.jp/>) にてお申し込みください。

イベント番号: No. 94364

※参加券は発行しておりません。

(お問い合わせ先)

東京商工会議所
広報部 経済資料センター
住所: 千代田区丸の内3-2-2 6F
電話: 03-3283-7690



東京商工会議所の創設者で初代会頭である渋沢栄一が、2024年度から新しい1万円札の肖像に用いられることになったことを記念して、東商では本年度、複数回に渡りセミナーを開催します。

第二回目のテーマは、「～論語と算盤の思想～」とし、『論語と算盤』の現代語訳をされ、中国古典研究家の守屋淳氏を招いて行います。渋沢栄一が生きた当時の世界観、なぜ論語だったのか、なぜ算盤だったのか、『論語と算盤』に見られる渋沢の思想とその形成過程についてわかりやすく解説いただきます。

渋沢栄一への理解と関心を深める機会として、是非ご参加ください。

【内容】

◇開会挨拶

◇講演「論語と算盤の思想」

講師: 守屋 淳 氏 (作家・中国古典研究家)

(プロフィール) 1965年生まれ。

早稲田大学第一文学部卒業、大手書店で約10年間の勤務を経て執筆・講演活動に入る。

現在は中国古典、主に「孫子」「論語」「老子」「莊子」「韓非子」などの知恵を現在にどのように活かすかをテーマに、執筆や企業での研修・講演を行う。また上場企業の社長らとの勉強会も数多く実施。

同じ中国古典研究者の守屋洋氏は実父。

◇質疑応答 他



貴社名			所在地
(業種)	(従業員数)	名	〒
TEL:	FAX:		E-Mail:
参加者 1	ふりがな氏名:	部署 役職	
参加者 2	ふりがな氏名:	部署 役職	

ご記入いただいた情報は、当講演会の運営・管理・名簿作成・今後の行うセミナー等の情報提供に使用いたします。
当日はメディア等の取材と、係員による会場内の撮影等を行いますので、お姿が写真に入る場合がございます。予めご了承下さい。